



9月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和6年9月1日

連日の暑さにも負けず、職員室前の鉢のメダカが元気に泳いでいます。登降園の際、子どもたちはメダカを眺めることが日課となっています。「あっ、赤いメダカ！かくれんぼしちゃった」「白いのも黒いのもいるよ」と、新しい発見に、驚いたり喜んだりしています。

始業式当日、メダカの鉢に浮かぶホテイアオイという水草に、初めて薄紫色の清楚な花が咲きました。一株だったホテイアオイは、旺盛な繁殖力で鉢一面に広がり、水中の窒素を吸収して、日陰作りと水質浄化という点で、メダカの飼育には効果的だそうです。それと同時に、青木先生が毎日のエサやりや定期的な水の入れ替えを行い管理くださっているお陰で、メダカも健やかに成長し、子どもたちの憩いの場にもなっております。保護者の皆様も園に出向いた際には、是非鉢の中を♪そ〜っと覗いてみてください。

また、この夏、ゆう子副園長先生のお考えにより、こども園近く（鹿島街道沿い）の理事長先生の土地を、バスの渡邊先生にトラクターで耕し畑にさせていただきました。土壌がしっかり整いましたら、歩いてジャガイモの種芋植え、さつまいもの苗植えなどを行い、いつでも歩いて生長の様子を見に行ったり、草花や昆虫・小動物と戯れたりすることができるようになります。このように様々な方々のお力で、子どもたちの貴重な体験や豊かな感性が育まれていくことは楽しみです。

さて、この度、2学期始業式を目前に、第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）に参加して参りました。2・3号認定保護者の皆様には、いろいろとご協力を頂きましてありがとうございました。一人ひとりの「こどもまんなか」を守る質の高い幼児教育を～社会全体でつむぎ未来へつなぐため～と掲げ、各分科会では、「5歳までの教育環境が我が子の将来を決める」と言っても過言ではないくらい、ご家庭や私たち保育教諭の役割は大切だと感じた学びでした。

3・4・5歳児の子どもたちはそれぞれの学年において、【1期】進級・新入したばかりの4・5月は不安と混乱期、【2期】5・6月の自己発揮期、【3期】7～9月の自己主張期、【4期】10～12月の仲間意識期を経て、【5期】1～3月の自己充実期に繋がっていきます。

7月～9月は自己主張期ということで、3歳児「先生のお手伝いをしたい・関心が物から人へ」、4歳児は「ぼくがね、わたしがね・1番に走りたい」「友だちから刺激を受け積極的に自分の思いを表出する」、5歳児「友だち同志ぶつかり合いながら、いろいろなことに気付き葛藤する」

そして「自己主張し葛藤しながら折り合いを付けていく」時期です。

やりたい思いを十分に受け止めて発揮させてあげることにより、10月～12月の仲間意識期の運動会・作品展・生活発表会の行事の頃には、3歳「挑戦したり、友だちと取り組む楽しさを知る」、4歳「友だちと共感したり刺激を受けたりして、自分なりに表現しながら意欲的に遊びや活動を進める」、5歳「仲間意識も深まり目標に向けて取り組んでいく」「どんな発表にするか見通しを持って話し合う」姿が見られるようになってきます。

それには、必要に応じて友だちと共有できる遊びを取り入れたり、保育者がよい聞き役となり、子どもの思いやイメージをつなげたり、主体的に考えたり工夫したりできる場や材料を適材適所に準備し、子どもの要求に応じて提供できることが大切になりますので、引き続き、子どもたちとの対話を大切に、子どもたちの様子をよく見て参ります。

ご家庭におかれましても、個人差もありますが、今の子どもたちの発達の特性の時期にご理解いただきながら、温かいまなざしで受け止め応援していただけたらと思います。

今月は、「防災の日」と「秋分の日」についてご紹介します。大正12年9月1日は関東大震災が発生した日です。その災害を忘れず今後の教訓にするために、昭和35年に「防災の日」として定められました。被害を最小限にするために、園でも毎月避難訓練を行います。ご家庭でも備蓄など、防災グッズの点検をしておくといいですね。また、最近では、大型台風等の影響を懸念して、いわき市こども支援課より、臨時休園などの通達があり、ご心配・ご迷惑をおかけする場合がありますが、「大切な命を守る措置」として、宜しくご理解くださいますようお願い致します。

「秋分の日」は、先祖を敬い亡くなった人々を偲ぶ日として昭和23年に制定された祝日です。昼と夜の長さが同じくらいになり、この日を境に少しずつ昼の長さが短くなっていきます。まだまだ残暑も続きますが、少しずつ秋を感じられていきそうですね。